

ディック・ブルーナさんのイラストを活用したチラシ

チャンスがあれば、チャレンジできる



子供の貧困をなくすため、社会全体で支援の輪を広げていきましょう

夢を、貧困につぶさせない
子供の未来応援国民運動



学びの機会や衣食住が十分でない子供たちに
寄り添って、NPOなどの民間団体が草の根で活動しています

支援レポート1

食べ物とともに、エールを送っています

【小学生が2人いるので、お菓子も多めにに入れてあげましょう。」そんな声とともに、市販中止薬などから選ばれる食料を箱詰めに詰め込みます。作業をしながら、楽しくなったお菓子から選ばれるお菓子は「打っていいのっ、選べない子」と喜びます。選べないお菓子は「打っていいのっ、選べない子」と喜びます。選べないお菓子は「打っていいのっ、選べない子」と喜びます。

支援レポート2

休日、お昼ご飯が食べられない子供に

週末がなければお昼休みも、通学に食べられない子供たち。大人の前では「もう食べた」といえない子供たち。お昼ご飯を食べられない子供たち。お昼ご飯を食べられない子供たち。お昼ご飯を食べられない子供たち。

支援レポート3

難関が難しい中高生の進学を支援

進路不明や難関校の受験生を支援。生活保護受給者や母子家庭など、進学に経済的困難を抱えている子供たちを支援しています。進学に経済的困難を抱えている子供たちを支援しています。

支援レポート4

ひとり親家庭の子供たちに学習会

「学習会」を実施。学習会に参加した子供たち。学習会に参加した子供たち。学習会に参加した子供たち。

貧困の連鎖を、支援の輪で断ち切ろう!

子供の貧困を放置すると、子供一人ひとりの将来が阻害されてしまうだけでなく、貧困の連鎖により、学力の減少や市場の縮小、社会保障費の増加など、社会的な損失につながる懸念があります。それぞれが、できることから支援の手を差し伸べ、社会全体で支援の輪を広げていきましょう。



政府は対策を強化していきます

- 生活を応援**
子供の生活費につく
子供の生活費につく
子供の生活費につく
- 学びを応援**
学習会や個別の指導
学習会や個別の指導
学習会や個別の指導
- 仕事を応援**
親の就労支援
親の就労支援
親の就労支援
- 住まいを応援**
ひとり親家庭などの
ひとり親家庭などの
ひとり親家庭などの

支援の輪も広がっていきます

「子供の未来応援国民運動」の公式サイトをご覧ください。

- 子供たちを支援しているNPOなどの民間団体と連携して、国や自治体の活動に協力して、国や自治体の活動に協力して、国や自治体の活動に協力して。
- 「子供の未来応援国民運動」の公式サイトをご覧ください。
- 「子供の未来応援国民運動」の公式サイトをご覧ください。

- 【寄付の方法】**
① クレジットカードで寄付(公式サイトから必ずお申し込み下さい)
② 銀行振込で寄付
- 【銀行振込先】**
振込機関：三井住友銀行 / 口座
口座番号：普通預金 1660000
口座名：公益財団法人日本財団 子供の未来応援基金
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
※ 振込の際は必ず振込先を確認してください。

支援隊や子供の未来応援基金への具体的な寄付の方法は

【お問い合わせ先】
子供の未来応援基金事務局
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
TEL: 03-6342-1420
FAX: 03-6342-1421

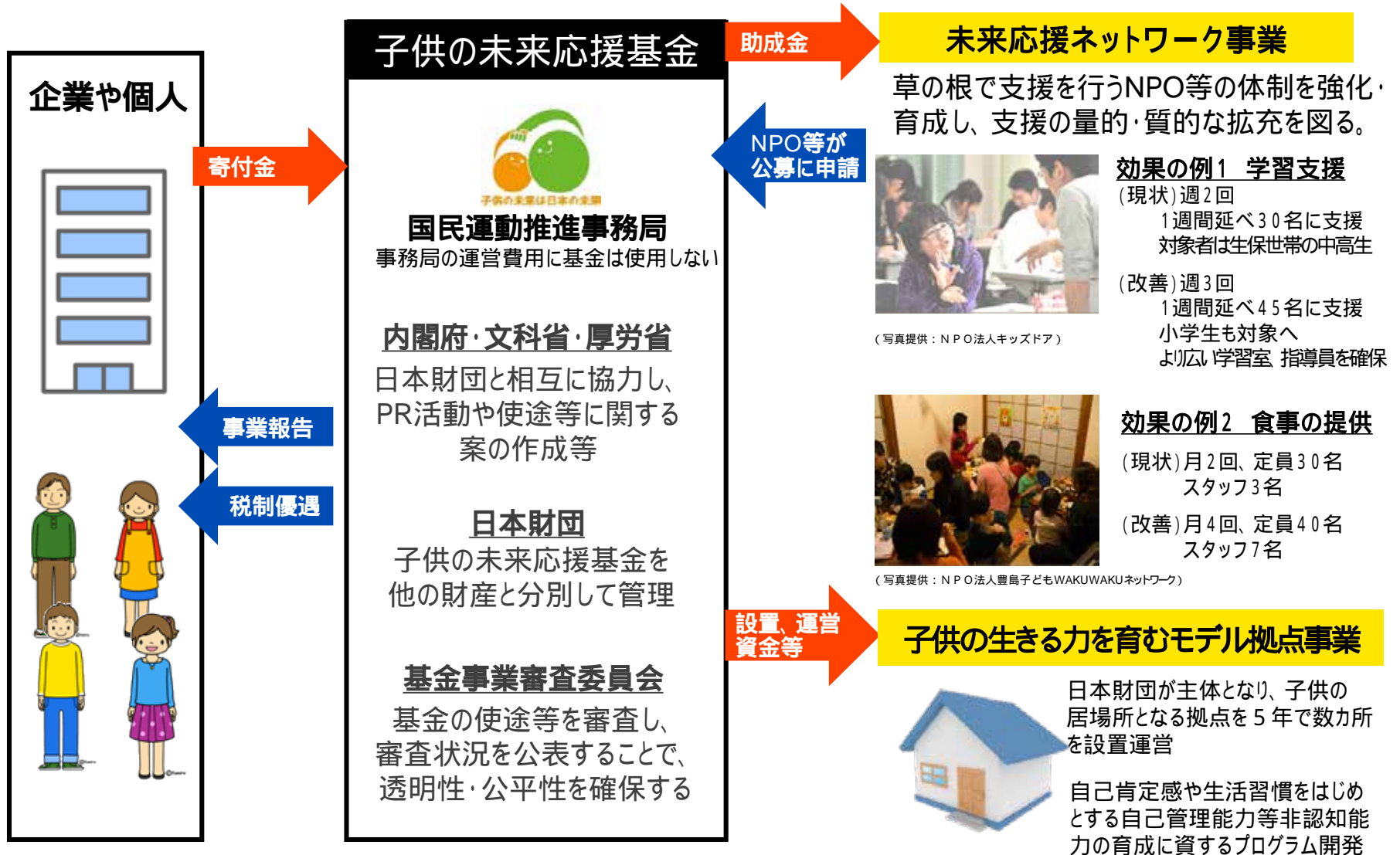
子供の未来 応援



IV 子供の未来応援基金

子供の未来応援基金

- 事業概要とお金の流れ -



例 ①

学習支援を行うNPO法人 A

学習支援事業のほか、相談支援やセミナー・イベントの開催など啓発事業を行っている。

学習支援事業においては、児童養護施設に暮らす中高生を対象とした学習ボランティアの派遣、小学生の補習教室の運営や運営支援・教材支援、学習ボランティアの募集サポートなどを行っている。



(写真提供：NPO法人キッズドア)

例 ②

児童養護施設出身者への支援を行う一般社団法人 B

児童養護施設から推薦のあった退所予定者に対し、免許証の取得費用を全額補助している。

免許証は身分証明として機能し、就業等に有利な資格となる。運輸業界等への就業支援事業も始めることとされている。



(写真提供：一般社団法人青少年自助自立支援機構)

例 ③

生活支援を行うNPO法人 C

月に数回、安価で栄養バランスのとれた夕食を食べられる子供食堂を運営している。

親の帰りが遅く夕食を一人だけで食べていた子や、不登校だった子、赤ちゃん連れのシングルマザーなどが立ち寄る。



(写真提供：NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク)

基金による支援対象事業等について

1. 28年度事業の内容

草の根で貧困の状況にある子供たちに寄り添った支援活動を行うNPO法人等を支援し、社会全体で子供の貧困対策を進める環境、応援ネットワークを構築



様々な困難を抱える子供たちに寄り添ったきめ細やかな支援を届ける

平成28年度は、2つある基金事業のうち、未来応援ネットワーク事業を実施。子供の生きる力を育むモデル拠点事業については、寄付の状況等を踏まえ、次年度以降の実施を検討。

2. 対象団体

公益法人(公益社団法人又は公益財団法人)

一般法人(一般社団法人又は一般財団法人)

NPO法人(特定非営利活動法人)

その他ボランティア団体、町内会など非営利かつ公益に資する活動を行う法人又は任意団体

基金による支援対象事業等について

対象事業	期待する効果の例	審査の観点	対象費用
A．様々な学びの支援	進学率の向上や 退学率の低減等	<p>計画性 目的に沿った目標の達成に向けた計画が立てられているか</p> <p>連携 地域における多様な関係者と連携する工夫があるか</p> <p>広報 積極的な広報、情報発信の工夫があるか</p> <p>継続性 基金による支援後の見通しがあるか</p>	<p>支援上限額は 500万円とする</p> <p>以下のような事業に必要な費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 ・諸謝金 ・旅費交通費 ・委託費 ・消耗什器備品費 ・印刷製本費 ・通信運搬費 ・会議費 ・広告宣伝費 ・事業管理費 ・雑費
B．居場所の提供・相談支援	社会的孤立の解消等		
C．衣食住など生活の支援	栄養ある食事の確保や正しい生活習慣の習得等		
D．児童養護施設退所者の支援	同施設退所者の生活基盤の確立等		
E．児童又はその保護者の就労の支援	就労率の向上や安定した収入の確保等		
F．里親又は特別養子縁組の斡旋又は支援	里親委託率の向上等		

公募及び審査等の流れ(想定)

